(19)日本国特許庁(JP)　(12)登録実用新案公報(U)　(11)実用新案登録番号
実用新案登録第3145581号
(U3145581)
(45)発行日　平成20年10月16日(2008.10.16)　(24)登録日　平成20年9月24日(2008.9.24)

(51)Int.Cl.　F I
A01K 61/00 (2006.01)　A01K 61/00　J

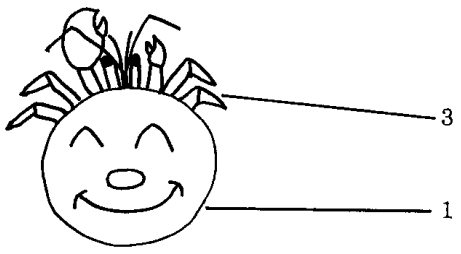
評価書の請求 未請求　請求項の数 1　書面　(全 5 頁)

(21)出願番号　実願2008-3673(U2008-3673)
(22)出願日　平成20年5月2日(2008.5.2)

(73)実用新案権者　598103912
藤島　久
秋田県北秋田市松葉町６―４１―５
(72)考案者　藤島　久
秋田県北秋田市松葉町６－４１－５

(54)【考案の名称】ヤドカリ飼育用の造形人工貝殻

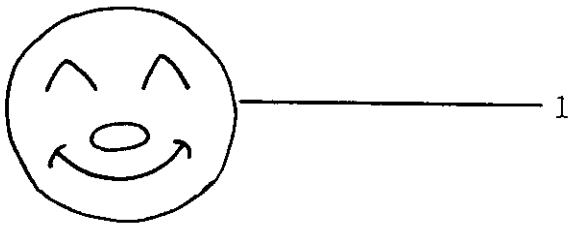
(57)【要約】　(修正有)
【課題】ヤドカリは巻貝を背負っているという固定概念に一切拘ることなく、もっと自由な発想で、造形物の対象となる加工貝殻を提供する。
【解決手段】自然の巻貝の貝殻を削ったり、パテや粘土状の物を用いて多種多様な形状に加工した貝殻を背負わすことで、自然界でのヤドカリの生息形態である自然の巻貝を背負ったヤドカリという従来の常識を覆すことで、より楽しく飼育ができるようになる。
【選択図】図３



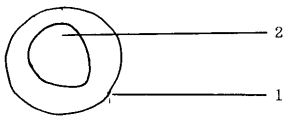
【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
自然の巻貝を削ったり、パテや粘土状の物を用いて形状を変えたヤドカリの飼育の為の貝殻。
【考案の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本考案は、ヤドカリの背負っている貝殻に関するものである。
【０００２】
本考案は、自然の巻貝を削ったり、自然の巻貝をパテや粘土状の物を用いて形状を変えた貝殻を、ヤドカリの飼育の際の従来の巻貝の代替品として使用するものである。
【背景技術】
【０００３】
ヤドカリは自然界の巻貝を背負うという形で生息し、そのままの状態で飼育を楽しむものである。
【考案の開示】
【考案が解決しようとする課題】
【０００４】
ヤドカリは自然の貝殻を背負っているという固定概念に一切拘ることなく、もっと自由な発想で、造形物のモチーフを考え、より楽しくヤドカリの飼育をするものである。
【課題を解決するための手段】
【０００５】
自然の巻貝を削ったり、自然の巻貝をパテや粘土状の物を用いて形状を変える。
【考案の効果】
【０００６】
造形物の対象となるモチーフは、自由な発想で選ぶことができるので、例えば、お笑い芸人の顔や多種多様なキャラクターをモチーフとした造形加工貝殻を作ることで、ヤドカリという生物をよりコミカルで魅力的な生物に演出することができる。
【考案を実施するための最良の形態】
【０００７】
ヤドカリを楽しく飼育できるように、多種多様なキャラクターをモチーフとした造形加工貝殻を作る。
【実施例】
【０００８】
一例として、（公序良俗違反につき、不掲載）をモチーフとした造形加工貝殻にヤドカリを入れて、飼育水槽の中で、（公序良俗違反につき、不掲載）の造形加工貝殻を背負いながら、生活するヤドカリ。
【産業上の利用可能性】
【０００９】
チョコエッグ等、その商品の種類の多さからコレクション性が生じたように、本考案も、単なるヤドカリの飼育用品ということだけではなく、コレクターズアイテムとして受け入れられる。
【００１０】
キャラクターの意匠や、所属タレントの肖像権の商業的利用の新たな形となります。
【００１１】
販促品や景品等として、例えばビール・清涼飲料水・自動車等をモチーフとした造形加工貝殻や、その造形加工貝殻にヤドカリを入れて配布することで、意外性の高いＣＭ効果を狙える。
【図面の簡単な説明】
【００１２】

【図１】上面図
【図２】底面図
【図３】ヤドカリが入った状態の上面図
【符号の説明】
【００１３】
１　造形加工貝殻
２　空洞の入口
３　ヤドカリ

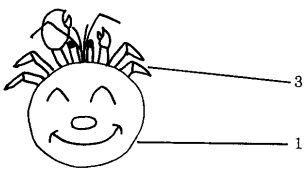
【図１】



【図２】



【図３】



【手続補正書】
【提出日】平成20年7月4日(2008.7.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
自然の巻貝を削ったり、パテや粘土状の物を用いて、お笑い芸人の顔や多種多様なキャラクターをモチーフとした形状に加工した、ヤドカリの飼育の為の加工貝殻。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【考案の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本考案は、ヤドカリの背負っている貝殻に関するものである。
【０００２】
本考案は、造形物に巻貝のような螺旋状の空洞を設け、ヤドカリの飼育の際の従来の巻貝の代替品として使用するものである。
【背景技術】
【０００３】
ヤドカリは自然界の巻貝を背負うという形で生息し、そのままの状態で飼育を楽しむものである。
【考案の開示】
【考案が解決しようとする課題】
【０００４】
ヤドカリは貝殻を背負っているという固定概念に一切拘ることなく、もっと自由な発想で、造形物のモチーフを考え、より楽しくヤドカリの飼育をするものである。
【課題を解決するための手段】
【０００５】
造形物に、ヤドカリが好んで生息するように、巻貝のような螺旋状の空洞を設ける。
【考案の効果】
【０００６】
造形物の対象となるモチーフは、自由な発想で選ぶことができるので、例えば、お笑い芸人の顔や多種多様なキャラクターをモチーフとした造形人工貝殻を作ることで、ヤドカリという生物をよりコミカルで魅力的な生物に演出することができる。
【考案を実施するための最良の形態】
【０００７】
ヤドカリが好んで生息するように、巻貝のような螺旋状の空洞を設けた、多種多様なキャラクターをモチーフとした造形人工貝殻を作る。
【実施例】
【０００８】
一例として、カボチャをモチーフとした造形人工貝殻にヤドカリを入れて、飼育水槽の中で、カボチャの造形人工貝殻を背負いながら、生活するヤドカリ。
【産業上の利用可能性】
【０００９】

食玩等、その商品の種類の多さからコレクション性が生じたように、本考案も、単なるヤドカリの飼育用品ということだけではなく、コレクターズアイテムとして受け入れられる。

【００１０】

キャラクターの意匠や、所属タレントの肖像権の商業的利用の新たな形となります。

【００１１】

販促品や景品等として、例えばビール・清涼飲料水・自動車等をモチーフとした造形人工貝殻や、その造形人工貝殻にヤドカリを入れて配布することで、意外性の高いＣＭ効果を狙える。

【図面の簡単な説明】

【００１２】

【図１】上面図

【図２】底面図

【図３】ヤドカリが入った状態の上面図

【符号の説明】

【００１３】

１　造形人工貝殻

２　巻貝のような螺旋状の空洞の入口

３　ヤドカリ